

2019年度

空間表現

(問題)

<H31136281>

注意事項

1. この試験では、この問題冊子のほかに、解答用紙を配布する。
2. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
3. 問題は3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄（表側のみ）に、黒鉛筆（濃さは自由）で描くこと。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
5. シャープペンシルは使用しないこと。また、スケッチ用器具、定規等も使用しないこと。
6. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
7. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例) 53001番 ⇒

万	千	百	十	一
5	3	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

「賑わい」を表現してください。

近年の日本は、少子化による人口減少、高齢化や過疎化、単身者の増加や空き家の増加など、縮小する社会のあらゆる側面が露呈してきています。そんな時代の中で、人と人が出会い、集える「賑わい」のある場や空間の創出はこれまで以上に大切になってきています。

ここでは「賑わい」を自由な発想と想像力を活かして表現してください。

必ず人物をどこかに描いて下さい。（体全体でも一部でも良いこととします。）

表現方法は自由ですが、光や影の濃淡や、全体の構図に気を使って描いてください。

活気が強く伝わってくるような力作を期待しています。

*以下注意点

- ・ 用紙は縦使い、横使いのどちらでも可とします。
- ・ 描画にあたって定規を使用することはできません。鉛筆を用い、フリーハンドで絵を描いてください。
- ・ 陰影を施すことが強く望まれます。
- ・ 鉛筆を削る際には、後片づけをすること。
- ・ その他、出題内容について不明と思われる部分は、各自で想定してください。
- ・ 全体的なレイアウト、説明があればその部分も採点対象となります。

[以下余白]

採 点 欄	

(注) 整理番号・採点欄には記入しないこと。 整 理 番 号

(理工) _____

受験 番号	G	万	千	百	十	一

氏 名	
--------	--

(注) 整理番号は記入しないこと。 整 理 番 号

(理工) _____